

講義科目 : 哲学	単位数 : 2
担当 : 吉本 陵	学習形態 : 選択科目

講義の内容・方法および到達目標

現代の科学技術は私たちの社会に大きな影響を与え続けています。この授業ではその中で科学技術が私たちの（誕生・死を含む）生命に対する影響に焦点を当て、科学技術時代における生と死の意味という問題について哲学的に考察することを試みます。授業は講義形式で行い、上記の論点について自ら論述できるようになることを目標とします。

授業計画

- 第1回 ガイダンス&イントロダクション
- 第2回 哲学的・倫理的なものの考え方（1）功利主義と義務論
- 第3回 哲学的・倫理的なものの考え方（2）理論を学ぶ意味
- 第4回 現代社会と動物の問題（1）ペットについて
- 第5回 現代社会と動物の問題（2）家畜について
- 第6回 出生前診断と優生思想（1）出生前診断の歴史と現状
- 第7回 出生前診断と優生思想（2）優生保護法と内なる優生思想
- 第8回 「尊厳死」をめぐるいのちの対話（1）ALS患者とのいのちの対話
- 第9回 「尊厳死」をめぐるいのちの対話（2）生きる意味とは何か
- 第10回 脳死臓器移植の倫理（1）医療倫理の原則
- 第11回 脳死臓器移植の倫理（2）脳死
- 第12回 脳死臓器移植の倫理（3）脳死臓器移植
- 第13回 未来に対する責任（1）「100,000年後の安全」は可能か？
- 第14回 未来に対する責任（2）核燃料サイクル
- 第15回 未来に対する責任（3）高レベル放射性廃棄物

教材・テキスト・参考文献等

教科書は使用しない。参考文献は適宜指示する。

成績評価方法

定期試験(80%)に、平常点(20%)を加味して評価する。五回を超える欠席が認められた場合には評価の対象外とする。

その他

各回の授業後、講義内容についての基本的な質問に対する解答の提出を求める。平常点はそれをもとに評価する。